

公共事業等施行状況調（令和5年5月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		(5月末)				
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B	5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
1	治山・治水	24,617	23,764	14,339	16,811	2,514	17.5	3,869	23.0	
2	農林・水産	31,136	32,749	23,420	24,654	3,502	15.0	4,584	18.6	
3	道 路	55,593	53,793	30,787	33,860	7,370	23.9	6,581	19.4	
4	港湾・空港	7,562	7,082	3,342	2,983	1,192	35.7	884	29.6	
5	下水道・公園	10,777	9,868	2,522	2,732	102	4.0	144	5.3	
6	住 宅	1,298	1,489	1,227	1,045	367	29.9	315	30.1	
7	庁 舎	2,374	2,467	2,103	2,315	1,483	70.5	1,194	51.6	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,558	5,802	3,929	4,519	593	15.1	299	6.6	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	84	11	3.2	34	40.5	
12	災害復旧	5,822	602	5,200	457	1,075	20.7	0	0.0	
13	その他	6,453	7,419	4,259	4,153	400	9.4	685	16.5	
	計	153,442	145,984	91,472	93,613	18,608	20.3	18,589	19.9	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年5月末）

（単位：社、件、百万円、％）

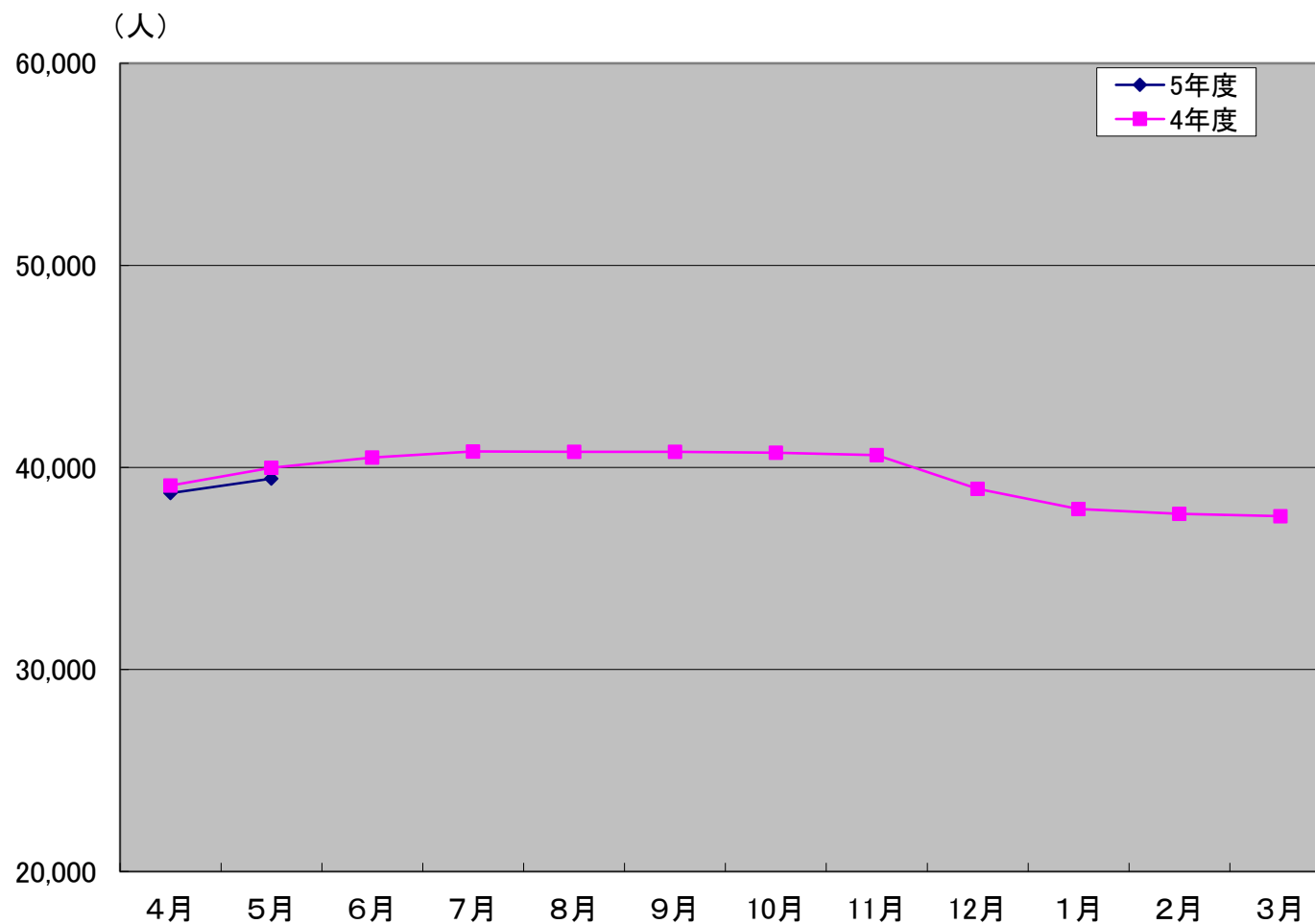
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
5年度	153,442	91,472	4,258	412	18,608	4,164	391	15,027	60	10	589	34	11	2,992
					B/A 発注率 20.3	C/B 97.8	94.9	80.7	D/B 1.4	2.4	3.2	E/B 0.8	2.7	16.1
前年度比	105.1	97.7	100.0	93.8	100.1	100.4	94.4	100.2	87.0	90.9	74.9	81.0	78.6	106.5
4年度	145,984	93,613	4,258	439	18,589	4,147	414	14,994	69	11	786	42	14	2,809
					B/A 19.9	C/B 97.4	94.3	80.7	D/B 1.6	2.5	4.2	E/B 1.0	3.2	15.1

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月		40,493
7月		40,790
8月		40,778
9月		40,773
10月		40,728
11月		40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	38,728
資格取得者数	1,196
資格喪失者数	481
転入者数	22
転出者数	20
今月末被保険者数	39,445

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)5月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年6月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。4月の青森県内の販売量は2万3千トン(協会調べ)で前年同月比3.6%減。3カ月連続で前年実績を下回っており、需要低調が続いている。メーカー各社は、昨年10月に表明した3,000円以上の値上げが5月に浸透したことを受け、販売価格を維持することで悪化した採算の改善に取り組む構え。高騰した石炭相場も落ち着き、新たな値上げの動きは見られないため、先行き、横ばいで推移する公算大。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		道路工事向け、農薬土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加。コンクリート製品メーカー各社は、セメント、電力料金の値上がりや輸送コストの増加を理由に、値上げの上積みを求め交渉を継続している。需要家は製造コストが増加している状況に理解を示しつつも、さらなる値上げの受け入れには慎重な構え。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の5月の出荷量は5万m3(生コン工組調べ)で前年同月比1.3%の増。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、メーカー各社は、輸送コスト増加や原材料価格の上昇による採算悪化回避のため、強腰の姿勢で値上げ交渉を継続している。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先し、八戸で値上げの一部が浸透した。メーカー各社は引き続き交渉を継続する構えだが、浸透には時間を要しそう。先行き、横ばいの公算大。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○		生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は、原油高による輸送コストの増加や電気料金の上昇を理由に4月から200～400円の値上げを表明。需要が減少するなか、採算悪化に危機感を募らせたメーカーは強腰で価格交渉を継続。安定調達を優先した需要家はこれを受け入れた。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり118,000円と前月比変わらず。メーカー各社は電力料金などの製造コスト増を理由に、継続的に販売価格の引き上げに取り組んでいる。一方、原料の鉄スクラップ価格の下落から、需要家は先行きを見定めようとする意向に徹し、市況は踊り場状態が続いている。弱基調だった鉄スクラップ価格は、ここに来て反発しているものの、荷動きが低調に推移するなかで需要家の抵抗は厳しく、価格交渉は難航するとの見方が強い。目先、横ばいの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		5月の県内出荷量は3万3千トン(合材協会調べ)で前年同期比3.1%の減少。大型物件が少なく、維持修繕など小規模工事向けが中心で商況は盛り上がり欠いている。原材料のストア価格は落ち着きを見せているが、メーカー各社はエネルギーコストの高止まりが採算を圧迫しているとして、値上げ交渉を継続している。需要家は、メーカーの状況に理解を示しつつも、値上げ受け入れには慎重な姿勢。目先、横ばいの見通し。
木 材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比2,000円の下落。4月の県内新設住宅着工戸数は506戸で前年同月比15.4%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比5.8%の減少、それに次ぐ貸家が同28.0%の減少などとなっている。下落の続いた欧米材に底値感が台頭しているものの、住宅需要に回復の兆しが見られず市中の荷動きは低調。仕入れの下げ止まりに加え、このところの円安の影響もあって流通業者は現行価格維持を目指しているが、需給緩和に押され厳しい状況。目先、弱基調の見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり121円、重油はローリー渡りでリットル当たり82円とともに前月比変わらず。世界的な景気後退による需要回復の遅れへの不安が続くなか、主要産油国は減産合意を来年末まで継続、サウジアラビアは独自で7月の追加減産を発表。ここ1カ月の原油相場は同水準で推移し、元売り各社の仕切価格も小幅な値動き。政府は6月から補助の段階的な縮減を実施する一方、高騰への備えを強化。今後も大幅な価格変動は避けられる見通しで、目先、横ばいの見込み。
型枠合板		○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,900円と前月比100円の下落。5カ月連続の下落となった。4月の輸入合板入荷量は、15万1千m3で前年同月比37.5%の減少(財務省調べ)。市中在庫量は減少しているが実需も精彩を欠き、ひっ迫感は見られない。需要家が当用買いに徹するなか、流通筋は売り上げ確保を念頭に販売価格を引き下げたため、統落に歯止めがかからない状況。市中に底値感はなく、現行価格維持も厳しいとの見方が支配的。需要回復の見込みは薄く、目先、弱基調の見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり128,000円と前月比変わらず。市中の荷動きに直結する中小建築需要が低迷しており、需給にタイト感は見られない。メーカー各社の値上げによって採算が悪化している流通筋は、採算悪化を回避するため売り腰を強めている。しかしながら、一部で見受けられた下値の切り上げは見られるものの、全体的な値上げの浸透には至っていない。流通各社は今後も値上げ交渉を続ける構えだが、需要回復の兆しはみえず、目先、横ばいで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (5年6月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	6,160	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	0.0	13,600	0.0	16,700	4.4	15,033	1.6	
砕石等	洗砂	m3	3,500	6.1	3,400	6.3	4,900	8.9	3,933	7.3	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	7.5	4,400	7.3	4,900	4.3	4,533	6.2	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	9.4	3,700	5.7	3,533	4.9	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	118,000	0.0	118,000	0.0	118,000	0.0	118,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	106,000	0.0	106,000	0.0	106,000	0.0	106,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	-2.2	89,000	-2.2	89,000	-2.2	89,000	-2.2	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121.0	0.0	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82.0	0.0	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,900	-5.0	1,900	-5.0	1,900	-5.0	1,900	-5.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	128,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

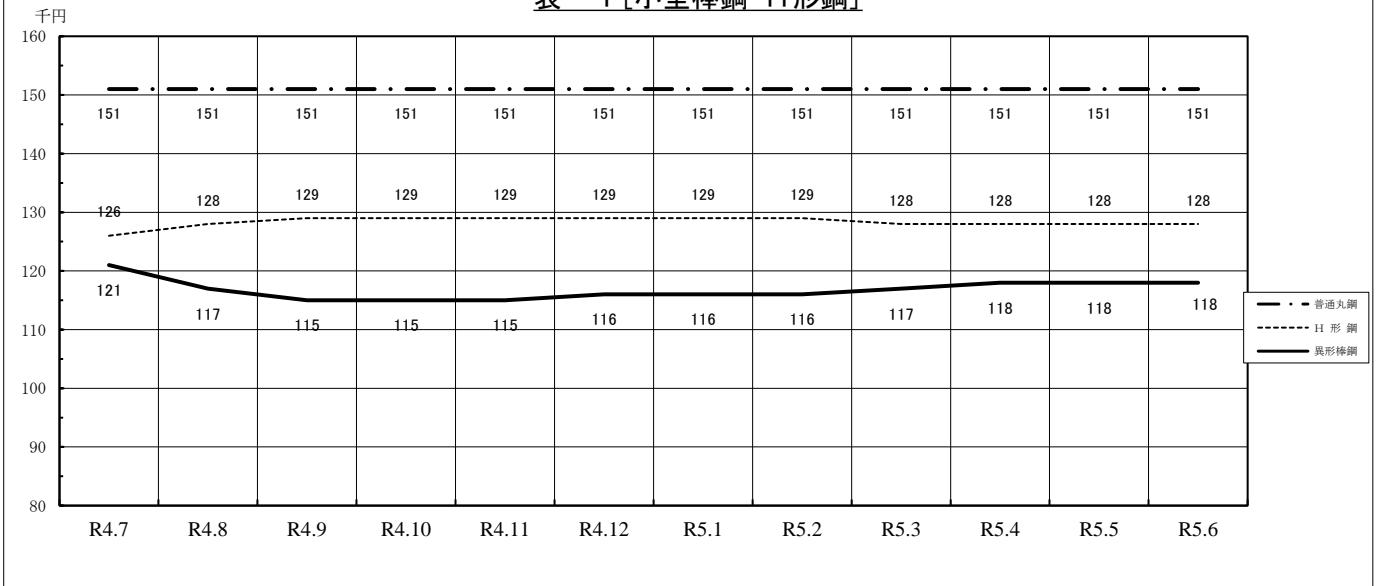


表-2 [セメント・生コン]

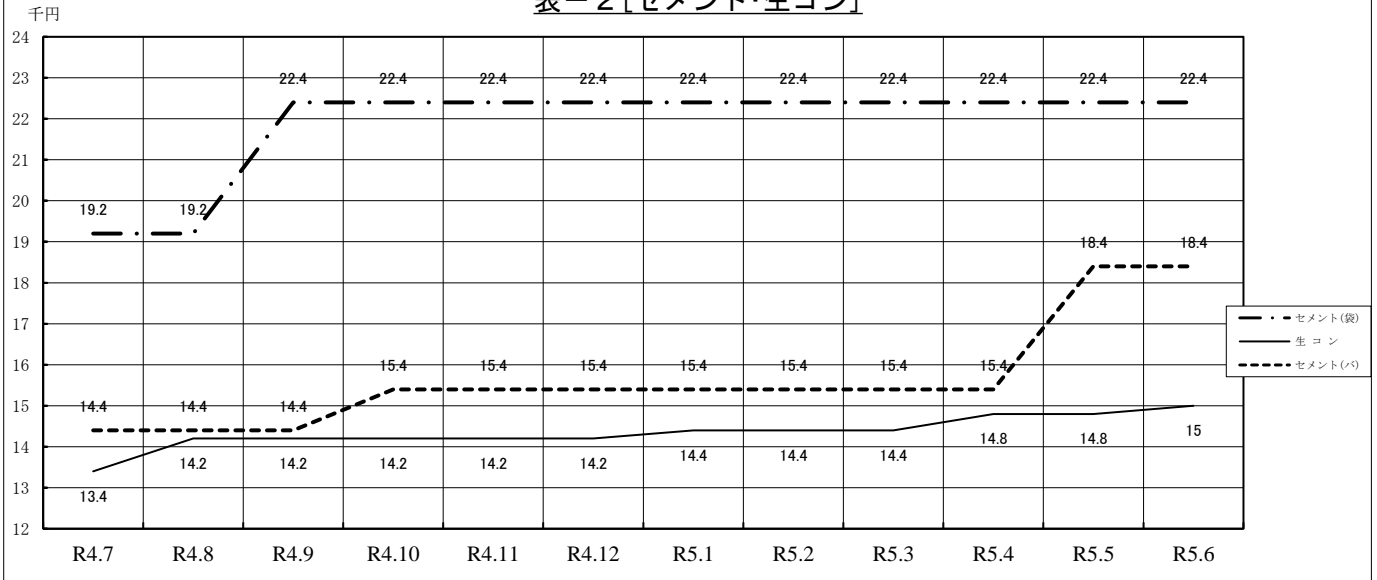
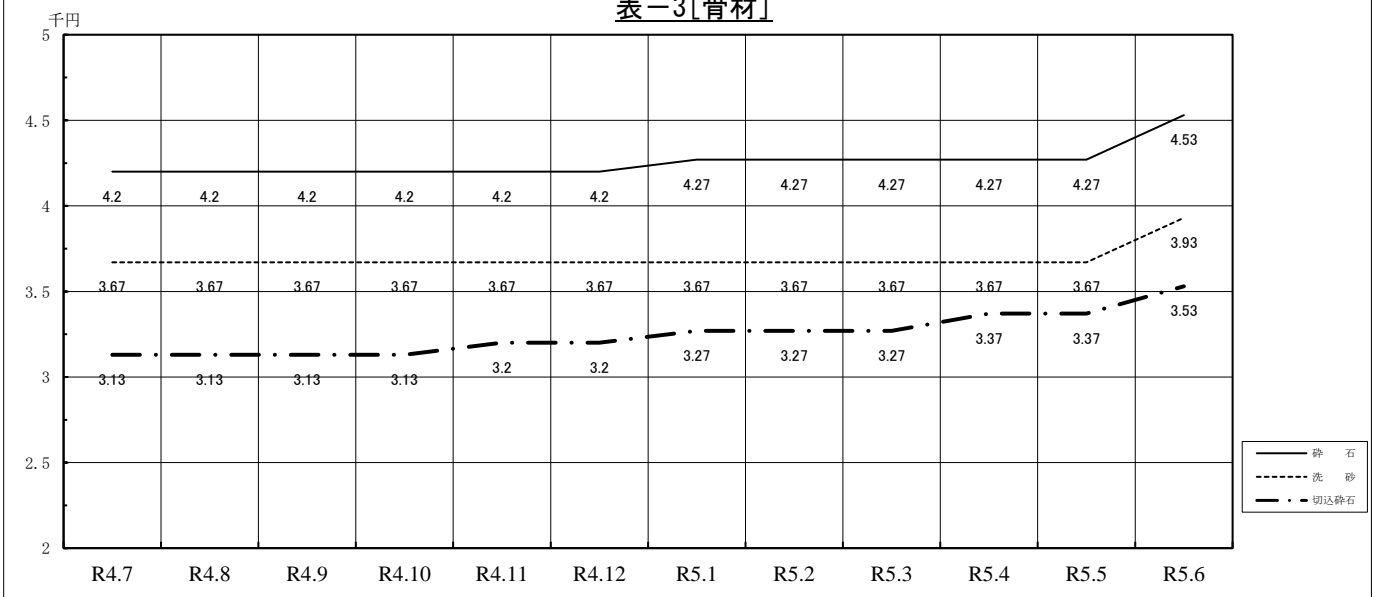


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

